

山本實彦 （註） 出版人、政治家。明治十八年一月五日鹿児島縣生れ、  
 昭和二十七年七月一日歿（八五—一九五）。號龜城。日本大學卒。新聞  
 記者を經じ、大正四年東京毎日新聞社社長、八年改造社創立、十五年  
 現代日本文學全集（註）を發刊、圓本流行の魁（註）となる。昭和五年衆議院議  
 員、戦後協同民主黨委員長。

著書『政界の寧馨兒』（山本龜城名、明治四十三年九月五日博文館）、  
 『我觀南國』（大正五年七月二十日半田貫一朗刊、東京堂書店發賣）、  
 『瀟・鮮』（昭和七年十月二十一日改造社）、『支那』（昭和十一年  
 九月十一日改造社）、『人と自然』（昭和十二年五月二十日改造社）、  
 『支那專變・北支之卷』（昭和十二年十月十九日改造社）、『興亡の  
 支那と深視のこ』（昭和十二年四月二十日改造社）、『歐洲の現勢と  
 獨逸の將來—戦火の歐洲より歸して』（昭和十五年九月七日改造社）、  
 『新歐羅巴の誕生』（昭和十五年十月二日改造社）、『蘇俄實見』（昭  
 和十六年八月八日改造社）、『巨小なる歩み』（昭和十七年十月二十  
 日改造社）、『世界文化人巡禮』（昭和二十二年一月二十五日改造  
 社）等。

